

政策シート (政策名) 若者の自立を促す環境づくりの推進
(予算費目名) 次世代育成費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 子どもの育ちを支え、若者の自立を応援するまちづくり

◇政策の概要

若者を社会全体で健全に育成し、社会生活を送るうえで困難を感じることなく自立できるための環境を整える。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	110	95
決算	107	
人件費(A)	9,380	9,380
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	9,487	9,475

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
市民アンケート(子育てがしやすくなっていると感じる人の割合(%))	%	50	目標	37	38
			実績	31.7	
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

若者を社会全体で健全に育成し、社会生活を送るうえで困難を感じることなく自立できるための環境を整える。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 計画通り

・指標については目標に達していない状況である。これは、新制度が大きな制度改正であったため、新制度への戸惑いが影響を及ぼしていると推測する。
・子育て中の市民に限定すれば、子育てがしやすくなっていると感じる人の割合は43.2%である。
・直接子育てに関わっていない市民にも、子育てがしやすくなっていると感じてもらえるよう、市の施策の実施状況等の周知を強化する必要がある。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	子ども・若者支援プラン推進事業	○				9,475	95	1.1			0.6	
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						9,475	95	1.1			0.6	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 子ども・若者支援プラン推進事業

◇事業目的・事業対象

平成27年度から施行した子ども・子育て支援新制度をはじめ、ひとり親家庭等の自立促進や若者支援の円滑な推進を図る。

◇事業の概要

平成27年度より施行した子ども・若者支援プランの進捗管理や見直しを行う。

【推進体制】

浜松市子ども・子育て支援推進会議、浜松市社会福祉審議会児童福祉専門分科会、若者サポートネットにおいて子ども・若者支援プランの推進について協議するとともに、総合的な施策展開の検討・調整を行う。

【点検・評価】

前述の推進体制と併せて、実績や課題整理を行い、PDCAサイクルによる計画の見直しや修正を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	H31	一般会計	自治事務(その他)	子ども・子育て支援法ほか	○	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	110	95
	決算	107	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	107	95
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		9,380	9,380
人工	正規	1.1	1.1
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤	0.6	0.6

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
市民アンケート(子育てがしやすくなっていると感じる人の割合(%))				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	37	38			50
実績値	31.7				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

平成27年度より施行した子ども・若者支援プランの進捗管理や見直しを行う。

【推進体制】

浜松市子ども・若者支援推進会議、浜松市社会福祉審議会児童福祉専門分科会、若者サポートネットにおいて子ども・若者支援プランの推進について協議するとともに、総合的な施策展開の検討・調整を行う。

【点検・評価】

前述の推進体制と併せて、実績や課題整理を行い、PDCAサイクルによる計画の見直しや修正を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・指標については目標に達していない状況である。これは、新制度が大きな制度改正であったため、新制度への戸惑いが影響を及ぼしていると推測する。

・子育て中の市民に限定すれば、子育てがしやすくなっていると感じる人の割合は43.2%である。

・直接子育てに関わっていない市民にも、子育てがしやすくなっていると感じてもらえるよう、市の施策の実施状況等の周知を強化する必要がある。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 - / - 事業費 現状 人工 現状

・子ども・若者支援プランの進捗管理や見直しについては、現状が最適の状況である。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 - / - 事業費 現状 人工 現状

・子ども・若者支援プランの進捗管理や見直しについては、国が示す策定指針に従い対応する。

・プランの中間評価の手法について、他都市の事例等を参考に検討する必要がある。

・事業の分類

大分類 事業推進 細分類 計画(策定・進行管理)

政策シート (政策名) 若者の自立を促す環境づくりの推進
(予算費目名) 青少年活動費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 子どもの育ちを支え、若者の自立を応援するまちづくり

◇政策の概要

若者を社会全体で健全に育成し、社会生活を送るうえで困難を感じることなく自立できるための環境を整える。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	95,336	83,686
決算	92,751	
人件費(A)	49,000	52,500
報酬(B)		777
年間経費(予算又は決算+A+B)	141,751	136,963

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
若者相談支援窓口「わかば」相談件数(件)	件	500	目標	350	385
			実績	372	
青少年の家利用人数(人)	人	49,500	目標	49,150	49,250
			実績	47,084	
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

若者を社会全体で健全に育成し、社会生活を送るうえで困難を感じることなく自立できるための環境を整える。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 遅れている

・「わかば」の相談件数は目標に達した。青少年の家利用人数は、対前年比では増となっており、今後、さらに増となるよう取り組みを進める。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	いじめ問題対策連絡協議会事業					2,260	83	0.2				777
2	青少年団体等活動助成事業(補助金)					6,400	5,000	0.2				
3	青少年の家管理運営事業					43,375	41,975	0.2				
4	天竜自然体験センター運営・整備事業					13,874	13,174	0.1				
5	青少年育成センター事業					30,318	5,818	2.7			2.0	
6	青少年健全育成事業			○		26,154	14,954	1.6				
7	青少年支援体験活動事業			○		3,292	1,892	0.2				
8	子ども・若者サポート事業		○	○		11,290	790	1.1			1.0	
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						136,963	83,686	6.3			3.0	777

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) いじめ問題対策連絡協議会事業

◇事業目的・事業対象

いじめ防止のための調査研究や情報交換を行う。

◇事業の概要

いじめ防止等に関係する機関及び諸団体の連携を図り、いじめ防止等に必要な事項等の意見聴取をする浜松市いじめ問題対策連絡協議会を開催する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H26	—	一般会計	自治事務(その他)	いじめ防止対策推進法	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	84	83
	決算	37	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	37	83
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			777
人件費(千円)		1,400	1,400
人工	正規	0.2	0.2
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
浜松市いじめ問題対策連絡協議会の開催回数				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	2	2			2
実績値	2				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

いじめ防止等に関する機関及び諸団体の連携を図り、いじめ防止等に必要な事項等の意見聴取をする浜松市いじめ問題対策連絡協議会を開催する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

【課題】

- ・ 継続的、定期的な協議会の開催
- ・ 議題、協議テーマの選定

【対応】

- ・ 関係機関、関係団体と連携を密にし、議題、テーマの候補を幅広く検討する

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 - / - 事業費 現状 人工 現状

・学校、教育委員会、法務局、警察、民生委員や学識経験者等から構成される協議会において、いじめの防止等に関する意見交換や連携が図られた。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 - / - 事業費 現状 人工 現状

- ・ 先進都市の状況を参考に会議をより活性化していく。

・事業の分類

大分類 管理・監視

細分類 団体運営

事業シート（事業名）青少年団体等活動助成事業（補助金）

◇事業目的・事業対象

青少年の健全な仲間づくりや心身の健やかな成長に寄与する団体の活動を支援する。

◇事業の概要

以下の事業を通して青少年の健全育成を図っている団体に補助金を交付して活動を支援する。

- ・スポーツ・レクリエーション事業
- ・文化体験事業
- ・季節行事活動事業
- ・野外活動事業
- ・親子ふれあい活動事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H25	—	一般会計	自治事務(その他)	—	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	5,000	5,000
	決算	5,000	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	5,000	5,000
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		700	1,400
人工	正規	0.1	0.2
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
ボーイ・ガールスカウト加入者数(人)				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	860	860			860
実績値	786				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
子ども会連合会への加入者数(人)				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	27,600	27,600			27,600
実績値	26,101				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

以下の事業を通して青少年の健全育成を図っている団体に補助金を交付して活動を支援する。

- ・スポーツ・レクリエーション事業
- ・文化体験事業
- ・季節行事活動事業
- ・野外活動事業
- ・親子ふれあい活動事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

学校を離れても、学年を越えて交流できる良い活動と考え取り組んでいるが、少子化や子どもの余暇の過ごし方が多様化しているため、団体が解散したり加入者数が減少したりする傾向がみられる。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目	現状	小項目		/		事業費	現状	人工	現状
-----	---------------------------------	-----	----------------------	---	----------------------	-----	---------------------------------	----	---------------------------------

青少年育成団体による活動への補助を通じて、団体の維持継続や加入者数の増加を今後も呼びかけていく。

今後の方向性

大項目	現状	小項目		/		事業費	現状	人工	現状
-----	---------------------------------	-----	----------------------	---	----------------------	-----	---------------------------------	----	---------------------------------

次代を担う青少年の健全育成は非常に重要なことであり、活動の支援を今後も継続する。

・事業の分類

大分類	補助・助成	細分類	補助・助成(公益団体)
-----	------------------------------------	-----	--

事業シート (事業名) 青少年の家管理運営事業

◇事業目的・事業対象

創造的な体験や交流活動の場を提供し、次代の社会を担う青少年の健全な育成を図る。

◇事業の概要

【青少年の家が行う主催事業】

- ・自然体験活動を通じた育成事業
- ・社会体験活動を通じた育成事業
- ・文化・創造体験活動を通じた育成事業
- ・リーダー養成事業
- ・指導者養成事業
- ・手と心をつなぐ支援事業(障がい児者等を対象にした支援事業)
- ・学校連携事業(通学合宿・移動青少年の家等)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S47	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市立青少年の家条例・施行規則	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	42,266	41,975
	決算	42,105	
	国・県支出		
	市債		
	その他	573	700
一般財源		41,532	41,275
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		1,400	1,400
人工	正規	0.2	0.2
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
青少年の家利用人数(人)				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	49,150	49,250			49,500
実績値	47,084				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【青少年の家が行う主催事業】

- ・自然体験活動を通じた育成事業
- ・社会体験活動を通じた育成事業
- ・文化・創造体験活動を通じた育成事業
- ・リーダー養成事業
- ・指導者養成事業
- ・手と心をつなぐ支援事業(障がい児者等を対象にした支援事業)
- ・学校連携事業(通学合宿・移動青少年の家等)

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

平成22年にリニューアルされて以来、利用者数は年々増加している。より積極的な広報により施設をアピールし、集客に努める必要がある。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 改善 小項目 収集・分析 / 事業費 現状 人工 現状

利用者数は年々増加している。利用者及び利用団体がほぼ固定化しており、安定した利用者がある反面、大幅に利用者が増加しないという傾向もみられる。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 収集・分析 / 事業費 現状 人工 現状

有識者や利用者からの意見を取り入れながら、さらに魅力的な主催事業を展開していく。また、利用実績がない団体への呼びかけや施設利用のPRを継続して行っていく。

・事業の分類

大分類 維持管理運営

細分類 施設管理運営(建物)

事業シート (事業名) 天竜自然体験センター運営・整備事業

◇事業目的・事業対象

船明ダム湖と周辺の森林を活用し、児童及び生徒の宿泊訓練並びに各種団体等の研修を通して青少年の健全な育成及び生涯学習の推進を図る。

◇事業の概要

学校等が当施設を利用して行う、主な活動内容は下記のとおり

- ・学校の宿泊訓練
- ・自然体験活動
- ・ボート大会
- ・部活動の合宿
- ・会社及び各種団体等の研修

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H2	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市立天竜自然体験センター条例・施行規則	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	24,281	13,174
	決算	23,217	
	国・県支出		
	市債		
	その他	1	
	一般財源	23,216	13,174
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		700	700
人工	正規	0.1	0.1
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
施設利用者数(人)				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	6,000	6,000			7,500
実績値	3,218				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
02 01 05 02 01101000(担当課)
次世代育成課(責任者)
安間 浩(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

学校等が当施設を利用して行う、主な活動内容は下記のとおり

- ・学校の宿泊訓練
- ・自然体験活動
- ・ボート大会
- ・部活動の合宿
- ・会社及び各種団体等の研修

・事業の成果と課題

指標の達成度

船明ダム湖と周辺の森林の環境を活用し、児童・生徒の宿泊訓練や各種団体等の研修を通して青少年の健全な育成及び生涯学習の推進に寄与した。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

天竜区の関連施設を一体的に管理するための方策として、天竜ボート場など一括して指定管理を行うこととした。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・施設の移管に向けて関係課との調整をすすめる。
- ・施設の借地解消が課題である。

・事業の分類

大分類 細分類

事業シート（事業名）青少年育成センター事業

◇事業目的・事業対象

青少年の非行防止と健全育成を図るため、関係行政機関や団体、ボランティア等が相互に連携し、補導活動や声掛けおよび環境浄化活動を効果的に推進する。

◇事業の概要

【街頭補導活動・特別補導】

毎月の補導計画による定期的な巡回や夏季・冬季県内一斉補導および浜松まつりへの祭典補導を行う。

【店舗等との情報交換】

大規模店舗やコンビニエンスストアなどの保安担当者と連携し情報交換を行う。

【社会環境の浄化活動】

立ち入り調査員を委嘱し、図書自動販売機・有害物件等の監視活動を行う。

【補導研修】

健全育成会やPTAなどを対象に、青少年を取り巻くさまざまな問題を取り上げて研修会を開催する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S36	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	5,925	5,818
	決算	5,322	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	5,322	5,818
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		24,500	24,500
人工	正規	2.7	2.7
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤	2.0	2.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
声掛け人数(人)				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	2,300	2,750			2,500
実績値	2,814				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【街頭補導活動・特別補導】
毎月の補導計画による定期的な巡回や夏季・冬季県内一斉補導および浜松まつりへの祭典補導を行う。

【店舗等との情報交換】
大規模店舗やコンビニエンスストアなどの保安担当者と連携し情報交換を行う。

【社会環境の浄化活動】
立ち入り調査員を委嘱し、図書自動販売機・有害物件等の監視活動を行う。

【補導研修】
健全育成会やPTAなどを対象に、青少年を取り巻くさまざまな問題を取り上げて研修を開催する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

問題行動への声掛けは減少(－102人)し、あいさつやちょっとした言葉掛けが増加(＋164人)している。今後も積極的に声を掛けて、大人が見守っているというメッセージを伝えていく。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

- ・補導活動のコースを工夫して徐々に声掛けの件数が上がってきた。
- ・育成指導員の言葉使いや態度に対して、苦情や事故もなく活動できた。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

- ・合同補導に取り組むブロックが増えたことから、今後はその内容の充実を図る必要がある。
- ・祭典補導は警察関係者と連絡を密にとり、補導実施時間を調整する必要がある。

・事業の分類

大分類 事業推進 細分類 安心・安全

事業シート (事業名) 青少年健全育成事業

◇事業目的・事業対象

青少年の健全育成を目指し、学校、家庭、地域など子どもを取り巻くあらゆる立場の人の連携をとり、地域社会の環境浄化と教育力の向上に努める。

◇事業の概要

【48地域(中学校区)青少年健全育成事業】

1. 地域の青少年が、地域の大人とふれあう活動の充実
2. あいさつ、声掛け(補導)活動の推進
3. 地域の青少年を取り巻く良好な環境づくり

【青少年健全育成会連絡協議会】

各地域の青少年健全育成会の代表による連絡協議会を組織し、情報交換、事例研修などを行う。

【青少年の表彰】

社会のために地道に努力している青少年、青少年団体の諸活動を賞賛・奨励する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H3	—	一般会計	事務区分(その他)		—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	14,993	14,954
	決算	14,907	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	14,907	14,954
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		11,200	11,200
人工	正規	1.6	1.6
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
「ひとりひとりにいい声掛けデー」への参加者数(人)				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	6,000	7,700			6,600
実績値	7,673				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【48地域(中学校区)青少年健全育成事業】

1. 地域の青少年が、地域の大人とふれあう活動の充実
2. あいさつ、声掛け(補導)活動の推進
3. 地域の青少年を取り巻く良好な環境づくり

【青少年健全育成会連絡協議会】

各地域の青少年健全育成会の代表による連絡協議会を組織し、情報交換、事例研修などを行う。

【青少年の表彰】

社会のために地道に努力している青少年、青少年団体の諸活動を賞賛・奨励する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

【成果】

- ・育成会長や事務局と情報交換を行ったり、各育成会が抱えている課題を把握したりすることができた。
- ・委託関係書類のExcel書式が事務局に定着し、事務の省力化が図られた。

【課題】

- ・各事務局の適正な事務処理について、明確にしておく必要がある。
- ・地域の人材が活動計画の作成段階から主体的に関わって事業をすすめていくしくみ作りを構築する必要がある。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

・研修会、第2回総会には、各育成会長だけでなく育成会事務局担当者も参加することとしたため、健全育成活動について相互に共通理解をしながら情報交換ができた。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 委託・指定管理 / 収集・分析 事業費 現状 人工 現状

・青少年健全育成事業が本市の実情に合った地域主体の活動となるよう、他都市の先進事例などを参考に仕組みづくりについて検討する。

- ・地域青少年育成会の活動が活性化されるよう有意義な研修会を企画する。

・事業の分類

大分類 事業推進 細分類 人材育成

事業シート (事業名) 青少年支援体験活動事業

◇事業目的・事業対象

問題を抱える青少年の立ち直り支援のため、体験活動コーディネーターを配置し、地域企業・事業所、ボランティア団体等の協力を得て、職業体験活動やボランティア活動を実施する。

◇事業の概要

1 体験活動コーディネーターの配置

体験活動支援のため、活動希望者、保護者、学校関係者との相談活動をはじめ、支援計画の立案、受け入れ企業の発掘を実施。

2 関係機関との連携および広報活動の充実

民児協、保護司会、校長会、若者サポートネット構成機関などの会合に参加し、事業説明・協力要請をする。また、通信制高校、定時制高校などへの事業説明を行う。

3 青少年理解研修会の企画

現在の青少年が抱える問題等を理解し、支援を充実させるため、研修する場を設ける。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H21	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	○

◇事業のコスト

◇事業のコスト		H27	H28
事業費(千円)	予算	1,927	1,892
	決算	1,807	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	1,807	1,892
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		1,400	1,400
人工	正規	0.2	0.2
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
支援体験活動相談件数(件)				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	20	20			24
実績値	17				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- 1 体験活動コーディネーターの配置
体験活動支援のため、活動希望者、保護者、学校関係者との相談活動をはじめ、支援計画の立案、受け入れ企業の発掘を実施。
- 2 関係機関との連携および広報活動の充実
民児協、保護司会、校長会、若者サポートネット構成機関などの会合に参加し、事業説明・協力要請をする。また、通信制高校、定時制高校などへの事業説明を行う。
- 3 青少年理解研修会の企画
現在の青少年が抱える問題等を理解し、支援を充実させるため、研修する場を設ける。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

【課題】

- ・本事業の周知については、校長会での事業説明とコーディネーターの学校訪問に加え、適応指導教室への周知を検討する。
- ・平成27年度の推薦のように、今後も、静岡県青少年会議「青少年団体等の顕彰」青少年指導者団体・指導者の部に、継続して受け入れてくれる事業所を推薦する。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

- ・「この職場体験でたくさんのことを学んだ。いつもは、夜、遊びに行って朝方に寝て、昼の12時くらいに起きていた。仕事をやり始めてからは疲れて夜も遊びに行かず、すぐに家で寝るようになり、生活のリズムが戻ってきたので良かった。」など、非行傾向や不登校ぎみな青少年の立ち直りのきっかけになっている。
- ・コーディネーターが全中学校を訪問し、事業の周知に努めている。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

- ・新規受入可能事業所の開拓を積極的に行う。

・事業の分類

大分類 事業推進 細分類 人材育成

事業シート (事業名) 子ども・若者サポート事業

◇事業目的・事業対象

子ども・若者育成支援推進法に基づき、社会生活を円滑に営む上で困難を有する若者を、庁内外の関係機関・団体が連携しながら総合的に支援する。

◇事業の概要

【重点戦略項目No.30】

- 若者支援地域協議会(若者サポートネット)の開催
 - 庁内外の関係機関を集め定期的に開催(代表者会議 年1回、実務者会議 年3回)
 - 個別ケース検討会の実施
- 支援者支援事業の実施
 - 若者支援スーパーバイズチームを作り、相談員や支援員の研修事業を開催する。
- 若者相談支援窓口「わかば」の開設
 - 社会生活を円滑に営む上で困難を有する概ね15歳から39歳までの若者とその家族の相談に応じ、困りごとを解消するための支援につなげる。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H23	—	一般会計	自治事務(その他)	子ども・若者育成支援推進法	—	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	860	790
	決算	356	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	356	790
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		7,700	10,500
人工	正規	1.1	1.1
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		1.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
若者相談支援窓口「わかば」相談件数(件)				—	30
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	350	385	450		500
実績値	372				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【重点戦略項目No.30】

- 若者支援地域協議会(若者サポートネット)の開催
 - 庁内外の関係機関を集め定期的開催(代表者会議 年1回、実務者会議 年3回)
 - 個別ケース検討会の実施
- 支援者支援事業の実施
 - 若者支援スーパーバイザーチームを作り、相談員や支援員の研修事業を開催する。
- 若者相談支援窓口「わかば」の開設
 - 社会生活を円滑に営む上で困難を有する概ね15歳から39歳までの若者とその家族の相談に応じ、困りごとを解消するための支援につなげる。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

【成果】

- 代表者会議、実務者会議で各機関が持っている情報を共有することができた。また、切れ目のない支援や連携について意見交換をすることができた。
- フォローアップ研修会アンケート結果から、参加者の約9割が今後の業務に生かせるという回答を得た。
- 相談者からは、「支援機関や制度などの情報が得られて安心した」「話を聞いてもらうことで問題が整理できた」などの感想をいただいた。

【課題】

- スーパーバイザーと実務者会議委員を区別し、各機関の窓口となる実務者の選出を依頼する必要がある。
- 支援者支援事業でスーパーバイザーが十分に活用できていない。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

- 社会生活を円滑に営む上で困難を有する若者を庁内外の関係機関、団体が連携しながら総合的に支援する体制ができている。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 一部委託 / 事業費 拡大 人工 縮小

- フォローアップ研修会と実務者会議を同一日、同一会場で開催することにより、新たなネットワークを構築する機会を増やす。

・事業の分類

大分類 事業推進 細分類 人材育成

補助シート (事業名) 子ども・若者サポート事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
30	【対象者】「子どもの将来が不安」「働く自信がない」などの悩みをもつ15歳から39歳までの若者とその家族 【実施】電話相談・面談相談 【内容】相談者の悩みを明確にし、適切な支援機関へつなげる	【対象者】「子どもの将来が不安」「働く自信がない」などの悩みをもつ15歳から39歳までの若者とその家族 【実施】電話相談・面談相談 【内容】相談者の悩みを明確にし、適切な支援機関へつなげる	【対象者】「子どもの将来が不安」「働く自信がない」などの悩みをもつ15歳から39歳までの若者とその家族 【実施】電話相談・面談相談 【内容】相談者の悩みを明確にし、適切な支援機関へつなげる	【対象者】「子どもの将来が不安」「働く自信がない」などの悩みをもつ15歳から39歳までの若者とその家族 【実施】電話相談・面談相談 【内容】相談者の悩みを明確にし、適切な支援機関へつなげる

政策シート

(政策名) 若者の自立を促す環境づくりの推進

(予算費目名) 私立学校教育振興費

(総合計画体系)

「分野」 地方自治・都市経営

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 子どもの育ちを支え、若者の自立を応援するまちづくり

◇政策の概要

全ての若者を社会全体で健全に育成し、社会生活を送るうえで困難を感じることなく自立できるための環境を整える。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	14,249	14,249
決算	14,115	
人件費(A)	700	700
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	14,815	14,949

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
補助対象となる学校法人への補助執行率 (%)	%	100	目標	100	100
			実績	100	
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

全ての若者を社会全体で健全に育成し、社会生活を送るうえで困難を感じることなく自立できるための環境を整える。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 達成

補助対象となる学校法人(10法人)のすべてに補助金を交付し、政策の目的を達成した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	私立学校教育振興助成事業 (補助金)					14,949	14,249	0.1				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						14,949	14,249	0.1				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート（事業名）私立学校教育振興助成事業（補助金）

◇事業目的・事業対象

私立学校における教育の振興や、私立幼稚園による子育て支援機能の充実を図る。

◇事業の概要

【私立学校教育振興事業費補助金】

市内から通学する生徒が受ける教育の質の向上を図るため、市内の私立中学校・高等学校を設置する学校法人(10法人)が行う教育施設の改善や教材・教具の充実等に充てる事業の一部を補助する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S55	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市学校法人助成条例	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	14,249	14,249
	決算	14,115	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	14,115	14,249
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		700	700
人工	正規	0.1	0.1
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
補助対象となる学校法人への補助執行率(%)				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	100	100			100
実績値	100				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【私立学校教育振興事業費補助金】

市内から通学する生徒が受ける教育の質の向上を図るため、市内の私立中学校・高等学校を設置する学校法人(10法人)が行う教育施設の改善や教材・教具の充実等に充てる事業の一部を補助する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

補助対象となる学校法人(10法人)のすべてに補助金を交付し、事業の目的を達成した。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 - / - 事業費 現状 人工 現状

・市内私立学校の教育振興を実現するため、必要な予算を執行した。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 - / - 事業費 現状 人工 現状

・引き続き、市内私立学校へ私立学校の教育振興を実現するため、必要な予算を執行する。

・事業の分類

大分類 補助・助成 細分類 補助・助成(民間事業)